

受賞者からのコメント

● 授業を行うにあたって工夫していること

学生に敬意・誠意を持って接していることが伝わり、これが授業に対する信頼感という形で帰ってきたのではないかと考えている。今後も、学生の期待に添うよう努めたい。

具体的な工夫点としては、発見などの歴史的背景（エピソード）や興味をそそるおもしろいはなし（豆知識）、最新の研究報告（トピック）などを適宜紹介しながら、飽きない授業を心がけており、生命科学に対する興味を持ってもらうことに力を注いでいる。また、暗記を強要するのではなく、直感的に理解できるように、丁寧で要点がわかる解説を心がけている。さらに、復習しやすいように、授業のポイントや補足図を簡潔にまとめたプリントを作成・配布したり、学習度を学生自身が確認したり、重要事項を覚えているか確認できる「ミニテスト」をホームページ上で公開している。なおプリントは、高校生物を履修していない学生向けに用語解説を含む形で丁寧に記述し、学習効率の高い復習ができるよう配慮している。講義では、わかりやすい写真や図、動画を投影し、複雑で巧妙な生命の構造を具体的且つ立体的に把握できるよう工夫している。

● 学生への要望・アドバイス等

授業は教員が一方的に行うものではなく、質問など学生のフィードバックがあって初めて成り立つもので、よい授業には学生の協力が欠かせません。オフィスアワーやメールを活用して、授業でわからなかったところや理解しづらかったところ、疑問点などをどんどん質問して下さい。配布プリントの誤字などの指摘も大歓迎です。メールでアポイントを取っていただければ、オフィスアワーは随時受け付けています。

アドバイス

高校時代に生物学を履修していなかったことに対してコンプレックスを持ってしまう学生が結構います。中には、一人前の医師になって医学・生命科学のプロフェッショナルになっているのにも関わらず、高校生物に対してコンプレックスを持ち続けてしまうひともいます。このコンプレックスは、試験で点が取れないことの言い訳にしかならず、持ってもいいことはありません。

生物未履修者は高校生物の教科書を一通り読んでおくといよいでしょう。受験勉強のように問題集を使って猛勉強する必要はありません。斜め読みで構いません。用語もいちいち暗記する必要はありません。高校生物の教科書は薄いので2冊でも1週間程度で読破できます。医学書と比べれば極めて安価ですし、友人に借りるのでもよいでしょう。このちょっとした努力で、生物履修者が高校でどんなことを学んだのかをおおざっぱに知ることができ、苦手意識を簡単に払拭できます。